



感謝の気持ちを込めて清掃活動



“絆” 感謝運動

竹田地区の清掃活動を実施

令和7年6月4日(水)に青年部及び女性部とNPO法人きらり鏡野のみなさんと共同で、竹田地区の道路や歩道、溝等のゴミ拾いを行い、日頃お世話になっている地域に対して感謝の気持ちを持って美化活動を行いました。

これは毎年6月10日の「商工会の日」に合わせ全国で、青年部同士の絆の強化並びに地域への感謝の気持ちを伝える機会として実施している、『絆』感謝運動の一環として行ったものです。今年度も鏡野町商工会独自で青年部及び女性部の共同事業として実施し、総勢35名での清掃活動となりました。

今後かけがえのない鏡野町において、経済を通じて街づくりに貢献できる人材育成に重点を置き、鏡野町の発展に寄与してまいります。



目次

総会結果報告・令和7年度重点事業 優良従業員表彰・新役員の紹介 P 2	青年部・女性部イベント告知 P 6
役員視察研修・商工会長杯ゴルフ大会 新会員紹介 P 3	会員事業所紹介 P 7
地区活性化活動報告他 ・富地区 ・奥津地区 P 4	・喜楽や かおる ・プライベートサロン 糸
支援の掲示板 ・BCP補助金告知 ・鏡野町起業支援事業補助金 活用事例 P 5	共済関係告知他 ・福祉共済・中退共ほか P 8

商工会は地域経済団体としての役割と使命を果たします。



▲ご来賓と被表彰者の皆様で記念撮影

総会には、鏡野町長 瀬島栄史様、岡山県議会議員 本山紘司様代理本山由加里様、

鏡野町議会議長 原章倫様をはじめとする8名のご臨席を賜り、肅々と開催されました。

令和7年度

鏡野町商工会 第64回 通常総会

**原材料・エネルギー価格・物価高騰に対する
小規模事業者の積極的な経営支援を実施します。**

令和7年5月22日(木)に、ペスタロッツ館「夢ホール」において、令和7年度通常総会を開催しました。

議案においては、第1号議案から第3号議案まで原案のとおり承認されました。今年度においても、経営改善普及事業の中でも最も重点的に取り組むように位置づけられている「経営発達支援事業」に積極的に取り組み、小規模事業者支援を実施してまいります。

また、「新しい資本主義」

の中で、成長戦略として方向性が打ち出されているデジタル化への対応として、DXの推進、事業を継続していく上での経営資源の管理の方法やリスクマネジメントを整理した「事業継続計画」の策定支援、創業支援・経営革新・事業承継・農工商連携・地域資源活用等の工商業者の専門的な経営課題についても、県連合会の広域サポートセンターを積極的に活用し、高度化・専門化・複雑化する支援ニーズへも対応していきます。

地域振興対策においても、町行政をはじめ町内外の関係諸団体と連携・協調し、地域経済団体として、今まで以上に積極的に取り組み、地域経済団体としての役割と使命を果たしてまいります。

令和7年度 永年勤続優良従業員表彰 9名の方が受賞！

また、同会場にて会員事業所に20年以上継続勤務し且つ勤務成績優秀な従業員が受賞される鏡野町長表彰2名、10年以上継続勤務し且つ勤務成績優秀な従業員が受賞される鏡野町商工会長表彰7名の授与式が執り行われました。

授与式では、受賞者を代表し(株)齋藤燃系の数本浩一さんが謝辞を述べました。



鏡野町商工会長表彰

池田精工(株)

佐古 杏介 様

竹井 栄悟 様

宇佐美和哉 様

野口 雅弘 様

宮本 博之 様

和光建設工業(株)
田中 雄治 様
谷口 孝幸 様

鏡野町長表彰

(株)齋藤燃系

数本 浩一 様

富岡 陽子 様

新役員紹介

「鏡野町商工会新役員
(補充選任)」(敬称略)

理事 入木 嵩浩

(株式会社トンカチ)



▲閉会の挨拶をする宇佐美会長



▲アサヒ飲料明石工場にて

初日は、兵庫県明石市にある「アサヒ飲料明石工場」を訪問。最新の製造設備や徹底した品質管理体制、環境配慮型の取り組みについて丁寧なご説明をいただきました。午後からは、「菊正宗酒造記念館」を見学。伝統的な酒造りの工程や歴史に触れ、日本酒文化への理解を深めました。

2日目は、「2025年大阪・関西万博」を視察。この万博の目的は「最先端技術など世界の英知を結集し、新しい発想を創造・発信」、「国内外からの投資を拡大」、「交流活性化によるイノベーションを創出」、「地域経済の活性化や中小企業の活性化」、「豊かな日本文化の発信」です。参加者は、普段見ることのない最先端技術等に触れ、見聞を広めることができました。以上、2日間にわたる視察研修は、参加者にとって非常に有意義なものとなりました。現場に足を運び、実際に「見る」「聴く」「体験すること」

役職員視察研修

大阪・関西万博にて世界の最先端技術に触れる！

令和7年5月24日(土)から25日(日)にかけて、鏡野町商工会役職員視察研修を18名の参加者にて実施しました。1日目は各地の企業・施設を視察し、2日目は関西万博において世界の英知が結集した最先端技術を体験しました。

た。続いて訪れたのは、「カップヌードルミュージアム(安藤百福発明記念館)」です。インスタントラーメンの歴史や創業者・安藤百福氏の発想力、試行錯誤の軌跡に触れ、創意工夫の大切さを改めて感じる視察となりました。館内では、オリジナルのカップヌードル作り体験も行い、楽しみながら学びのある時間を過ごしました。

商工会長杯ゴルフ大会
ナイスショットに満面の笑み！

▲クラブハウスにて授与式

令和7年6月14日に昨年に引続き商工会長杯ゴルフ大会を開催しました。会場となった奥津ゴルフ倶楽部に34名のゴルフ愛好者が集まり、当日はあいにくの雨模様でしたが、皆さんそれぞれの腕前を披露され、好プレー、珍プレーもあり、和気あいあいで、会員等相互の親睦を深められていました。

優勝は岡大将さん、準優勝は木村哲子さん、3位は中山正知さんでした。ベストグロス賞は、近藤克己さんでした。次回の開催予定日は未定ですが、日程が決まり次第、会員の皆様には、配布物でお知らせしますので、多数のご参加をお待ちしています。



▲参加者全員で集合写真



▲万博会場内の様子

新会員の紹介

(敬称略)

(令和6年12月20日)

令和7年4月24日

鏡野地区

SRKストア

KSP

大和美装

ドライフラワー工房 花戸

プライベートサロン糸

みずぎ農園

奥津地区

べんり屋 田口

地区活性化委員会視察研修

富地区活性化委員会

各地の工夫を凝らした施設づくりに感心！

令和7年2月15日(土)、富地区活性化委員会の視察研修を実施しました。今年度は、兵庫県方面を視察し、会員15名(事務局含む)が参加しました。

午前中は、「イングランドの丘」を視察し、自然と動物とのふれあひを通じて、地域資源を活用した観光施設の在り方を学ぶことができました。昼食は海鮮料理を食べながら会員同士コミュニケーションを図りました。

午後からは「たこせんべいの里」と「めんたいパーク神戸三田」を視察しました。「たこせんべいの里」は、工場見学と試食販売が一体となっ



▲イングランドの丘



▲めんたいパーク神戸三田

た施設で、広々とした店内では、数十種類ものせんべいが並び、試食を楽しみながら商品を選ぶことができる仕組みになっており、来場者の購買意欲を自然に高める工夫が随所に見られました。

最後に訪れた「めんたいパーク神戸三田」では、明太子の製造工程を見学するとともに、テーマパークとしての楽しさを感じられる空間づくりが印象に残りました。家族連れを意識した施設設計や、SNS映えを意識した演出など、集客の工夫が随所に見られ、地域に根ざした企業の取り組み

奥津地区活性化委員会

最新の技術と地域資源に参加者は興味津々！

令和7年4月22日(火)様々な花の咲く頃、奥津地区活性化委員会視察研修を和気・頭島・備前方面にて会員13名(事務局含む)の参加者で実施することが出来ました。

今回の研修は、健康の維持・増進に役立つ乳酸菌飲料を製造・販売しているヤクルトの和気工場、備前海の駅、日本一のだがい売場を視察しました。

ヤクルト和気工場は、本社



▲岡山和気ヤクルト工場

として参考になる点が多々ありました。

本研修を通して、地域資源を活かした施設運営や観光戦略、商品展開の工夫など、今後の事業にも活かせる多くの学びを得ることができました。

工場からタンクローリーで届いた原料液を調整してボトリリングする工場で、ヤクルトの創始者、代田稔医学博士が強化培養に成功した「乳酸菌シロタ株」を培養・調合・容器の成形、充填、包装、出荷までオートメーション化された衛生的な生産システムで製品づくりを行っていました。

乳酸菌シロタ株やビフィズス菌BY株は胃液などの消化液で死滅することなく、生きたまま腸内に届き、健康効果が科学的に証明されているそうです。また免疫細胞に攻撃されても死滅しないので、免疫が応援を呼ぶことで免疫力の強化にもつながると聞きました。

ヤクルトは子供の頃からなじみのある製品でしたが、より詳しく知ることが出来ました。

昼食は日生諸島の頭島にある「民宿よしのや」へ行ききました。頭島は周囲4キロの小さな丘陵状の島で、人口31

今後このような視察の機会を大切に、地域とのつながりを深めてまいりたいと考えております。

富地区活性化委員長

山崎 登



▲日本一のだがい売場

9人と日生諸島で最も人口が多く、自然豊かな環境で、民宿やペンションも多く、2015年には日生大橋が開通して、本土と陸路でつながっています。頭島は家の前まで車で入れないところが多く、昼食会場へもバスを降りて民家の間の路地を歩いてたどり着きました。道中、「トキワマンサク」が紫色の花を咲かせていました。「マンサク」といえば黄色い花を思い浮かべますが、鮮やかな紫色の花もとても美しかったです。

「民宿よしのや」さんでは新鮮な瀬戸内の海の幸づくし料理を堪能し、会員相互の親睦を図ることが出来ました。

今後も視察研修を継続していきたいと考えていますので、来年も多くの皆様に参加したいと思うよう企画していきたいと思っています。

奥津地区活性化委員長

大角 一史